

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	スナック（経営者）	・9月も最終週に入り少し上向いてきたので、このまま回復してもらいたい。
	◎	ゴルフ場（経営者）	・与党総裁選の政策論争では、各候補とも経済成長志向になりつつあるので、今後の景気の良化を期待している。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・墓じまいが増えれば、墓の中のお骨を永代供養墓に移すことが増えてくる。今後、この流れはますます増えてくる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種促進で、年末には人流の制限緩和ができることを期待している。
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるので、少しずつ元の生活に戻れるのではないかと。ただし、現状では2～3か月先を予想することは困難である。
	○	スーパー（経営者）	・政府の行動制限が解除されれば、景気も良くなる。新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいるので、景気は良くなる。
	○	スーパー（副店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種もさらに進んで、緊急事態宣言等も少しずつ緩和され、経済が少しずつ回復してほしいという願いもこめて、やや良くなる。
	○	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言解除や新型コロナウイルスの今後の見通しから、やや良くなるのではないかと。
	○	高級レストラン（経営者）	・まだ、新型コロナウイルスの感染拡大第6波の危惧もあるため、早々に忘年会の見送りを決めた会社も見受けられ、回復は大きくないとみている。
	○	一般レストラン（経営者）	・様々な制限解除で、瞬間的に人の動きは増える。ただし、3か月先まで続くかは分からない。
	○	一般レストラン（経営者）	・来月から行動制限が緩和され、動きが出るのではないかと。現在実施している「近郊者のみ店内飲食可能」の当店独自の規制も外す予定である。当市の発行店だけで使えるプレミアム付きクーポン（3000円で5000円分の消費ができる）の発売を機に、増販を期待している。クーポン利用の特典商材を作って客にアピールしたい。県の「安心のお店」として、11月30日まで同様のクーポンの扱いがある。
	○	観光型旅館（経営者）	・ようやく新型コロナウイルス禍における行動制限緩和の議論が始まり、11月ごろから回復傾向に向かう。その前に、10月上～中旬に感染拡大第5波の影響による小さな底を打ってから、緩やかに回復を迎えるとみている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・来月から首都圏の緊急事態宣言が解除になれば、宿泊を伴う出張や旅行が増える。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・県独自の時短要請の解除により、年末の予約受注が若干伸びてきている。また、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等解除の報道により、首都圏からの問合せも増加傾向にある。今が非常に悪いので確実に良くなるものの、大きな選挙がある時は客の動きが悪くなる傾向にあるので、大幅に良くなるとはまだ言い難い。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・今月は宿泊、宴会、レストラン部門共に、この半年間のなかで一番悪く、前年同月に比べても悪かった。客足が非常に落ちたが、これ以上悪くなるとは思っていない。当県の時短要請解除や9月末で首都圏の緊急事態宣言が解除されることにより、客足が伸びて各消費マインドも上がってくる。
	○	旅行代理店（副支店長）	・希望を含めて、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除、県をまたぐ移動自粛の緩和、新型コロナウイルスのワクチン接種率が向上すれば、旅行需要は好転し、良い方向に向かう。
○	タクシー運転手	・10月からはアルコールも解禁になって、夜の人出が増えてくると思うので、また売上は上がってくると期待している。	
○	観光名所（職員）	・旅行の自粛も既に限界に来ているのではないかと。緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできたこともあり、県をまたぐ移動も徐々に回復するのではないかと。再度の感染拡大が起きないことを願うばかりである。	
○	遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。	
○	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束方向になれば、一般客のバス利用も多くなる可能性がある。	

□	商店街（代表者）	・想定する範囲以上に悪くなると、大変なことになる。何とか現状のまま変わらずにこの冬を越したいと思っている。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費意欲が冷え込んでいるなかで、様々な物の値上げ情報が入ってきている。この情報が購入意欲を引き出せるのか、買い控えになるのかは不透明である。個々の仕掛けでは限界があり、売上増につなげていくには厳しい状況が続く。
□	一般小売店〔薬〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息まで、この状態が続く。
□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスが段々収束傾向にはなってきている。良くなるか悪くなるか、先行きは分からない。総選挙もあるので、政権が変わってどういう風になるかで、景気も左右されるかと思っている。
□	スーパー（店長）	・緊急事態宣言の解除も見込まれるが、新型コロナウイルスの感染拡大第6波も懸念されるので、12月には再び宣言が発出されるのではないかとと思っている。
□	コンビニ（経営者）	・これから寒い時期に向かっていくので、どうしても来客数が落ちることと、10月からたばこの値上げがあるので、9月が良かった反動で10月の売上は落ちることから、やや厳しくなる。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、外出する人が増えている。ただし、学生等の若い層の来客はまだ戻って来ていないので、変わらない状況がまだしばらくは続くのではないかと。
□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの根本的な改善がないため、変わらない。
□	コンビニ（店長）	・今月は気温にかなり振り回された状態だった。数か月後も、特段変わらないのではないかと。
□	衣料品専門店（経営者）	・まるで先が見えない。
□	家電量販店（店長）	・政府の景気刺激策がない。
□	乗用車販売店（経営者）	・新車の供給遅れは長引くと思われる。物不足による消費の落ち込みは避けられない。
□	スナック（経営者）	・当県もやっと時短営業が終わり、少しは客が戻らと思うが、厳しい状況が続いている。新型コロナウイルスのワクチン接種が終わっても、感染する人が結構いるので、今後も先が見えない状況で厳しい。
□	通信会社（経営者）	・新築着工戸数が徐々に増えてきているので、新規加入増に期待したい。一層の景気回復が望まれる。
□	通信会社（社員）	・新型コロナウイルス自体は終息傾向にあるが、消費者の行動意識は余り変化がない。安定した結果は残せてはいるものの、イベント等を絡めた爆発的な上昇は、まだ先になりそうである。
□	設計事務所（経営者）	・受注量は減ってきているが、回復する材料はない。
□	住宅販売会社（経営者）	・当地の別荘需要は総じて安定しているが、ウッドショックの影響で別荘の新築にプレーキがかかる懸念はある。
▲	商店街（代表者）	・新しい日常が、現在のような状態のこととすれば、旧来のやり方を全て変えなければならぬ。
▲	スーパー（経営者）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の地域指定が解除され、外食へシフトが進みそうである。
▲	自動車備品販売店（従業員）	・新車の減産等の影響で納車が減っている。本来なら新車需要に関連してタイヤや車載電装品等も売れるのだが、それらについても厳しい状況となりそうである。
×	コンビニ（経営者）	・夏でも売上が悪くなったので、冬場になると一層売上は悪くなる。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスがまん延している限り、駄目である。
×	その他専門店〔酒〕（店長）	・10月から緊急事態宣言が解除されるが、一時的に良くなっても、2年前の水準にはなかなか戻らないと思っている。新型コロナウイルスは、ワクチン接種をしても感染をするので、感染拡大第6波が年末に起きるかもしれない。何よりも私たちを取り巻くアルコールの状況が非常に厳しいことが鮮明になっているので、今よりもっと厳しい状況が続くのではないかと。持ちこたえられない飲食店も出てくるかもしれない。

	×	スナック（経営者）	・毎回同じだが、将来の景気は見通せない。ちまたでは、総選挙や中国問題等、いろいろあるが、我々のような零細企業は本当に困っている。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・全国的に新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあり、緊急事態宣言等が解除されれば、良い方向へ向かうかもしれない。ただし、再び感染拡大を繰り返す可能性も残っているので、慎重にならざるを得ないことを考えると、すぐに回復するとは考えにくい。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体不足の影響で、良くなる。
	○	食料品製造業（製造担当）	・ホテル等の来客数が増えて、注文も増えてくるので、やや良くなる。
	○	食料品製造業（営業統括）	・10月から全国で緊急事態宣言が解除されるので、酒類の動きも徐々に活発になる。また、11月には新酒の発売も控えており、景気は徐々に回復してくるのではないかと。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・受注見込みだけをみれば生産は回復するように見えるが、不透明な状況は変わらない。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・9月に入ってから、新型コロナウイルス感染者が急激に減少している。また、連休の車の移動や観光地への人出の増加等、Withコロナ時代へ向けた経済の転換傾向を見ると、冬にかけて消費が回復するのではないかと。
	○	金融業（調査担当）	・製造業の景況感は改善が続く見通しであるほか、観光関連でも全国の緊急事態宣言が解除されることで、需要の持ち直しが期待される。
	○	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んできており、観光業にも少し明るい兆しが見えてきたようである。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルス感染者数も減少傾向で、緊急事態宣言も解除される見通しである。予断を許さないが、現状よりは好転すると予想している。
	□	食料品製造業（総務担当）	・緊急事態宣言が仮に解除されても、急激な景気回復とはならないと考える。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・例年ある季節商材の受注は見込めるが、新型コロナウイルスの警戒レベルが下がっても、ワークショップの予約等は予想が立たない。幾らか動きが出てきている感はある。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品の入荷に伴って良くなると思うが、相変わらず入荷のめどは良くない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・現在の受注状況からみて、余り変化はない。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も進み、感染者の減少もみられ、一時よりは明るい方向に向かっている。新業に期待をしている。
	▲	—	—
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・この先2か月ほど大きな受注がない。例年ならイベント等がある時期だが、ほとんど中止のため受注がないので、少し先行きが心配である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・人の動きが活発になってきている。休日の道路は混み、ショッピングセンターや県内の観光地に活気が戻ってきている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・貯蓄等の蓄えが底をつき、貧富の差が広がるため、消費には回らないだろう。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・秋に向けて大型イベント等も数多く中止となっており、イベント関連業種は更に厳しい状況が続く。
	□	職業安定所（職員）	・今のところ、求人数の増加が見込めない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の減少に、やや明るさが見え始めているものの、次の感染拡大第6波を懸念して、アルバイト、パート社員採用にシフトする企業が顕著になってきている。
	▲	—	—
×	—	—	